

**令和元年度
野田市立あおい空指定管理者管理運営状況調書**

担当課 障がい者支援課

評価基準	評価項目	指定管理者 自己評価	担当課評価	特記事項
利用者の平等利用が確保されること	①平等利用確保への取組	B	B	
施設の効用（設置目的）が最大限発揮されるものであること	①サービス向上のための取組	B	B	
個人情報保護の適切な保護が図られていること	①個人情報保護のための取組	B	B	
緊急時の危機管理体制が確立されていること	①利用者等の要望、苦情への取組	B	B	
	②緊急時の危機管理への取組状況	B	B	
有効な生活介護の提供が図られていること	①生活介護のための具体的な取組	B	B	
有効な機能訓練の提供が図られていること	①機能訓練のための具体的な取組	B	B	
有効な日中一時支援、短期入所の提供が図られていること	①日中一時支援、短期入所のための具体的な取組	B	A	
衛生管理が適切であること	①適切な衛生管理のための具体的な取組	B	B	
現金の取扱い等の経理処理が適切に行われていること	①現金の取扱い	B	B	
管理経費の縮減が図られるものであること	①指定管理に係る収支見込について	B	B	
	②経費縮減のための取組	B	B	
事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	①人員配置について	B	C	現場職員の努力により支援の質は確保されている
	②職員の指揮監督・管理体制について	B	B	
	③人材育成の取組について	B	B	

【総合所見】

当該施設は、平成 25 年度から、社会福祉法人野田みどり会が指定管理業務を運営しており、指定期間（平成 27 年度から令和元年度まで）の最終年度となる。

施設の運営管理については、おおむね事業計画に基づいた運営がされているが年間を通して正規職員 1 名の欠員が続いており、ほかの職員についても年度途中の離職が生じている点から、人員配置についての担当課評価を C とした。指定管理の更新に係り実施した保護者向けのヒアリング等でも現場の職員に対する信頼が厚く、現場職員の努力により支援の質が確保されていることは評価すべき点ではあるが、法人全体として人員配置を充足し、より望ましい支援環境を構築することを期待したい。

評価すべき点としては、日中一時支援及び短期入所事業の利用率が年々向上しており、今年度 12 月までの利用率はそれぞれ 80%、68%と開所以来最高水準で推移している。指定管理者の報告にもあるとおり、利用者数増加により、利用希望者の意向に沿えないという弊害も生じつつあるが、利用率を継続して向上させた実績を考慮し日中一時支援、短期入所のための具体的な取組についての担当課評価を A とした。

また、収支状況について、予算額と決算見込額に大きな差があるものとして、上述の職員欠員に

よる人件費の執行残が挙げられるため、早急に職員の充足を行うように法人に強く要望する。

12月2日に担当課による施設点検を行ったが、直ちに危険となる箇所はなかったものの、開設から来年度で20年目となり今後、施設の老朽化が進むことも見込まれるため指定管理者と連携を密にしながら施設管理に当たる必要がある。

なお、最後に社会福祉法人野田みどり会の経営状況については、30年度の法人単位資金収支計算書を確認すると、当期資金収支差額合計で支出が収入を超過しているが、こちらは昨年度で老人福祉施設の大規模改修を行ったための単年度の事象であり、今年度は解消することが見込まれることから経営は安定している。